

令和4年8月29日

土成中学校保護者の皆様へ

土成中学校長 瀧川 靖治

## 生徒の学力向上について（お願い）

2学期が始まり、生徒たちも授業や部活動等に励んでいます。

さて、全国学力・学習状況調査結果が8月上旬に発表されました。ご存じのとおり、この調査は毎年4月に行われ、小学6年生と中学3年生の「学力」のみならず、家庭での生活習慣や学習習慣を含めた「学習状況」を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善に役立てること等を目的に行われています。

今年の学力調査は、中学校は、国語・数学・理科の3教科で行われました。すでに新聞紙上等でご存じかとは思いますが、徳島県の総合順位は、小学校が33位、中学校が5位でした。本校につきましては、総合的には、全国平均や県平均を上回っておりました。しかし、個別の教科で見ますと、国語、数学はともに全国・県平均を上回っていましたが、理科が全国・県平均を下回っていました。

また、4月に行われた中学1年生・2年生を対象とした徳島県学力ステップアップテスト結果からは、中学1年生については、国語は県平均を大きく上回っていましたが、数学は少し県平均を下回っていました。中学2年生については、国語・数学ともに県平均を上回っていました。

この学力調査結果や学習状況調査結果をふまえ、課題については改善策を図り、学力向上を図っていきます。ただ、学習習慣の定着や基本的生活習慣の改善等、家庭の協力を得て取り組まなければ、学力向上を図ることは難しいのも事実です。学校と家庭がしっかり連携し、子どもたちの学力を育んでいきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

### 1 中学3年生の分析結果

#### (1) 国語に関する分析

定着が不十分だった問題とその原因は次のとおりです。

##### ○スピーチ表現の工夫の問題

原因：コロナ禍でスピーチの場を十分に設定できなかったため

##### ○行書の特徴に関する問題

原因：楷書を行書に直す時の特徴を十分理解できていないため

#### (2) 数学に関する分析

定着が不十分だった問題とその原因は次のとおりです。

##### ○与えられた条件の下で説明する問題

原因：授業の中に説明する学習活動を取り入れることが難しかったため

#### (3) 理科に関する分析

定着が不十分だった問題とその原因は次のとおりです。

○「エネルギー」や「粒子」を柱とする領域の問題

原因：物理・化学の基本的公式の定着不足と計算問題が苦手なため

(4) 学習状況調査結果

① 改善されたこと

○いじめはどんな理由があってもいけない ○人の役に立つ人間になりたい

○学校に行くのが楽しい

② 課題と考えられること

○授業中のICT機器の活用 ○自分の話が伝わるよう工夫している

## 2 中学2年生の分析結果

(1) 国語に関する分析

定着が不十分だった問題とその原因は次のとおりです。

○行書にする問題、文節に分ける問題

原因：行書に直す学習や意味のまとまりを意識した学習が十分できていないため

○故事成語に関する問題

原因：故事成語の正しい意味を理解し、使用する機会が少ないため

○必要な内容を読み取り、決められた字数でまとめる問題

原因：必要な情報を読み取る学習や時数制限の中で考えをまとめる学習不足のため

(2) 数学に関する分析

定着が不十分だった問題とその原因は次のとおりです。

○立体の辺と垂直になる面を求める問題

原因：辺と垂直な面をイメージできないため

○関数の問題で、1つの数値が決まるともう1つの数値が決まることを説明する問題

原因：関数とは何かを理解していないため

(3) 学習状況調査結果

① 改善されたこと

○自分には良いところがある ○学校へいくのが楽しい

○家庭で学校での出来事について話す

## 3 中学1年生の分析結果

(1) 国語に関する分析

定着が不十分だった問題とその原因は次のとおりです。

○漢字の読みと敬語に関する問題、

原因：漢字の読み書きの練習不足と敬語を使い分け、使用する機会が少ないため

○適切な接続語を用いる問題と文脈から必要なキーワードを見分ける問題

原因：文章の構成や文脈から必要な情報を読み取る学習が少ないため

(2) 数学に関する分析

定着が不十分だった問題とその原因は次のとおりです。

○情報を的確に読み取る問題

原因：多くの情報から必要な情報を取り出す学習が少ないため

## ○文字を使って式を求める規則性の問題

原因：文字式を使って式を求める学習が少ないため

### (3) 学習状況調査結果

#### ① 改善されたこと

○自分には良いところがある ○家庭で学校での出来事について話す

○学習した内容を見直し、次の学習につなげている

#### ② 課題と考えられること

○学校へいくのが楽しい

## 4 学力向上対策

### (1) 授業改善

○毎時間、授業の目標の確認、終末での振り返りの活動を続けます。

○ノート指導、書く活動（カード・作文など）の工夫をします。

○感染対策をして、話し合い活動（ペア・班・全体など多様な学習活動）を多くします。

○漢字の読み書き、行書、故事成語等の学習をを繰り返します。

○ICT機器を活用して立体や空間図形の線と面の関係などのイメージを定着させます。

○資料から必要な情報を読み取り、説明する機会を増やします。

○物理・化学分野の公式を使った計算問題を繰り返し実施します。

### (2) 学級経営・生徒指導面から

○思いやりのある言葉づかいの指導を続けます。

○いじめの根絶を図ります。一人ひとりと向き合い、生徒理解に努めます。生活記録や生活アンケートによる指導を続けます。

○あいさつの徹底に重点を置き、学級や学校のルール遵守で規範意識の向上を図ります。

### (3) 学校全体での取組

○1年生からの積み重ねを大切にします。

○生活習慣や学習習慣は家庭との連携を、十分に図ります。

○小さな目標をたくさん達成させ、自己肯定感を育みます。

## 5 家庭との連携

学習に関しては、学校が全力をあげて授業の改善に努めます。どのクラスも、分かる授業、楽しい授業をめざします。授業が分かって楽しくなれば、自然に生徒たちの学習意欲が高まってくると思います。学習意欲＝やる気です。生徒たちにやる気を起こさせるよう、学校と家庭が協力していきましょう。学校は、学習を中心に改善します。家庭は、生活習慣の改善をお願いします。別紙「学力向上のための生活習慣チェック表」をご活用ください。生活習慣が良くなれば、学習意欲も高まり学力の定着へと進みます。学習も生活も、一朝一夕で身につくものではありません。1年生からの積み重ねが大切です。子どもの未来のために、学校と家庭が手を携えて「学力」と「望ましい生活習慣」がしっかりと身につくよう取り組みたいと思います。

【別紙】

学力向上のための生活習慣チェックポイント

No.	項目	チェック
1	進んで家族、友達、近所の人にあいさつをさせている。	
2	時計を見ながら行動させ、時間を守るようにさせている。	
3	「そういう考えもある」と多様な意見を受け入れる大切さを知らせている。	
4	学習に不要なものは学校に持って行かないように話をしている。	
5	子ども自身が自分の持ち物の整理整頓をするように習慣づけている。	
6	朝ごはんを必ず食べさせている。	
7	積極的にお手伝いさせて、子どもに「ありがとう」の言葉をかけている。	
8	SNSの使用時間を1時間以内に設定して、家庭学習の時間を確保している。	
9	家庭において予習・復習をするなど、自分で計画を立てて勉強させている。	
10	家族で自然や社会と触れ合う活動や地域の活動に参加している。	
11	家族で起きる時刻や寝る時刻を決め、規則正しい生活をさせている。	
12	家庭読書の時間を設けて、親子で読書をしている。	
13	子どもの頑張りをほめ、夢や目標を持たせるように努めている。	
14	子どもの話をじっくり聞く時間を作っている。	
15	友達や兄弟姉妹と比較しないようにしている。	